報道関係各位

2026年11月26日
NPO法人ECCOM八重山

バンナ公園、アリ探求家・島田拓氏の監修企画展「アリとあらゆるアリ展」を12月15日開幕

～長年公園に通い続けてきた島田氏が、運営法人ECCOM八重山の理事に就任～

県営バンナ公園（沖縄県石垣市）の管理運営を担うNPO法人ECCOM八重山（代表理事：内山潔）は、アリ探求家の島田拓氏（アリ専門店AntRoom代表）を理事に迎えました。

就任後の取り組みの第1弾として、島田氏が監修する企画展「アリとあらゆるアリ展」を、2026年12月15日（火）から2027年5月9日（日）まで、園内の石垣島昆虫館で開催します。テーマは「アリの社会性と巣を取り巻く生きものの多様性」。会期中は、島田氏を招いたガイドツアーや写真展なども開催します。





背景｜公園での出会いを、自然への理解につなげる

2025年、石垣市の入域観光客数は約149万人となり、過去最多を記録しました。人口約5万人の島に、その30倍近い人が訪れています。石垣市は、地域創生総合戦略で「自然環境の保全と適切な利活用」「生物多様性の保全」を掲げ、第2次石垣市観光基本計画でも「都市機能と自然資源、生活環境との共存」「観光客と地域の良質な接点づくり」を基本方針としています。

島で暮らす人と、訪れる人。その両方が同じ場所で島の生きものに出会える場として、バンナ公園では、生きものの暮らしを知る接点づくりを進めています。今回は、石垣島に生息するアリを中心に、その巣で暮らす生きものにも着目。互いに支え合う共生から、寄生・捕食までの関係を伝えることで、個々の生きものから、その暮らしを支える環境へと関心を広げます。

参考資料：石垣市「令和7年石垣市入域観光推計表」／第3期石垣市地域創生総合戦略」／第2次石垣市観光基本計画」

島田氏の理事就任｜長年通い続けた憧れの公園で、アリの暮らしから園内の自然を紐解く

島田氏は、アリの生態や社会のしくみ、アリの巣で暮らす「好蟻性昆虫（こうぎせいこんちゅう）」を探究し、著書や展示、トークイベントなどを通じて、その魅力を伝えてきました。バンナ公園にも毎年のように足を運び、園内のアリや好蟻性昆虫を観察してきました。島田氏が公園への思いを当法人のメンバーに語ったことをきっかけに話が進み、このたび理事に就任することとなりました。

今後は、島田氏が長年の観察で培った知見を公園運営に生かし、アリがほかの生きものや周囲の環境とどう関わっているのかを手がかりに、バンナ公園の自然の魅力を伝えていきます。

島田拓氏のコメント

このたび、NPO法人ECCOM八重山の理事に就任いたしました島田拓と申します。初めて石垣島を訪れたのは、今から約30年前のことでした。それから石垣島には年に何度も通うようになり、当時からバンナ公園も頻繁に訪れていました。広大な公園内には手つかずの大自然が残っていて、アリや好蟻性生物を調査したところ、数々の新発見や新種を発見することができ、改めて石垣島の自然の奥深さを知ることができた場所でもあります。素晴らしい自然が残るバンナ公園を通して、多くの方々に、自然環境を守ることの重要性や、そこで暮らす多くの動植物の魅力などをお伝え出来たら嬉しく思います。※コメントは一部抜粋。全文は別紙をご覧ください。



バンナ公園を探索する島田拓氏と、園内で撮影したアリ

別紙

石垣島昆虫館　企画展「アリとあらゆるアリ展」

会期：2026年12月15日（火）～2027年5月9日（日）
会場：石垣島昆虫館（バンナ公園内、北口ビジターセンター隣／沖縄県石垣市登野城2241-1）
開館時間：10:00～17:00（最終入場16:30）
休館日：定休日なし（公園の臨時閉園などに伴い、休館する場合があります）
入館料：大人500円／中高生300円／小学生100円／未就学児無料
監修：島田 拓（アリ探求家／アリ専門店AntRoom代表）
主催：NPO法人ECCOM八重山、いきものづくし　共催：NPO法人ECCOM　監修：AntRoom 島田拓

テーマ：アリの社会性と巣を取り巻く生きものの多様性

本展では、アリの多様な姿や暮らし、役割を分担しながら集団で生活する「社会性」を紹介します。
アリの巣で暮らす「好蟻性生物」にも目を向け、巣を取り巻く生きものの多様性を伝えます。





企画展のメインビジュアル・展示パネルのイメージ

01｜バンナ公園のアリとシロアリを生体展示

バンナ公園で採集したアミメアリやタカサゴシロアリなどを生体展示します。アミメアリには女王がおらず、働きアリの一部が卵を産みます。また、石垣島では、リュウキュウアカショウビンがタカサゴシロアリの巣を利用して子育てをした例があり、展示ではこうした生きもの同士の関わりも紹介します。
※展示する種類は、採集状況や生体の状態により変更する場合があります。

02｜島田氏の写真と監修で知る、アリの世界

島田氏が撮影した写真を用い、昆虫館が同氏の監修のもとで解説パネルを制作しました。アリの体のつくりや、集団での役割分担、巣（コロニー）にすむ好蟻性昆虫を紹介します。

同時開催｜イロイロアリづくし

会期中は、昆虫館の外でも、園内のさまざまな場所でアリにちなんだ企画を展開します。

■ いきものパーラー

「社会性昆虫と共生する生きものシリーズ in 石垣島」

日時：2026年12月15日（火）～2027年5月9日（日）※アリ展会期限定
内容：島田氏が石垣島で観察してきた種ごとの特徴を、当法人副代表理事の栗田こずえ氏（クリマロ代表）がクッキーアートで再現し、二人による解説を添えて販売します。　※作品一覧は別紙をご覧ください。

ティーセット・関連メニュー

アリTEAセット：メープルレモンティー（ミツツボアリ風味）/好蟻性生物プチクッキー付き
シロアリTEAセット：ナッツミルクティー（シロアリ風味）/好白蟻性生物プチクッキー付き
シロアリポタージュセット：パセリポタージュスープ（テングシロアリ風味）/好白蟻性生物プチクッキー付き
シロアリキノコスープセット：キノコスープ（シロアリの菌糸の香り）/好白蟻性生物プチクッキー付き



ヨツバアリ×アリノタカラ



アリクッキー



ティーセット（シロアリ）

※昆虫は使用していません。風味を表現したメニューです。

別紙

■ ビジターセンター（いずれも無料）

八重山のアリクッキー写真展
日時：2026年12月15日（火）～2027年1月31日（日）
内容：いきものパーラーで販売するクッキーの写真を展示します。触角の曲がり方や脚のかたちなど、一枚一枚に込められた細かなこだわりを、写真でもじっくりご覧ください。

島田拓のバンナ公園の生きもの写真展
日時：2027年3月1日（月）～5月9日（日）
内容：島田氏がバンナ公園を探検するなかで撮影した、生きものたちのいきいきとした姿を展示します。カメラがとらえた一枚一枚をたどりながら、一緒に園内を探検する気分でご覧ください。





アリの質問BOX
期間：会期中
内容：来園者から寄せられたアリに関する質問に、島田拓氏が答えます。
回答は月1回程度、ビジターセンターに掲示、バンナ公園公式ホームページ（ブログを予定）でも公開します。

今後の予定｜展示からフィールドへ

2027年春の第2弾では、島田氏による「アリのフィールドガイドツアー」やトークイベントなどの開催を予定しています。日程・内容は決まり次第、バンナ公園公式ホームページおよびSNSでお知らせします。
※内容は変更となる場合があります。

NPO法人ECCOM八重山

「生きている自然の入り口になる」をパーパスに掲げ、2025年4月より県営バンナ公園の管理運営を担っている。ビジターセンターを拠点とした自然観察プログラムのほか「バンナ商店」や「いきものパーラー」などを通じて、自然や生きものに触れる新たな接点づくりを展開。来園者、研究者、地域住民、事業者など多様な人々と自然をつなぐとともに、研究者による調査で得られた知見を来園者へ伝える取り組みも進めている。
代表理事： 内山 潔　　所在地： 沖縄県石垣市大浜333-1-406

多様な専門性を持つ理事メンバー

自然環境の保全、公園運営、自然体験、いきものをテーマとした商品開発や情報発信など、異なる分野の専門性を持つメンバーが運営に関わっています。それぞれの知見や経験を持ち寄り、多様な視点から、人と自然をつなぐ公園づくりに取り組んでいます。

代表理事	内山 潔｜NPO法人ECCOM 代表理事
副代表理事	栗田 こずえ｜いきものクッキーアーティスト／Kurimaro collection 代表
	川根 有機｜公園管理運営士／前三重県民の森所長
	堀井 大輝｜写真家・図鑑著者／西表島ナイトツアー専門店Asante代表
理事	さちこ（森田早紀）｜生き物イラストレーター／いきものづくし代表
	島田 拓｜アリ探求家／アリ専門店AntRoom代表
	土城 勝彦｜獣医師（たまよせ動物病院）／野生動物ドクター

県営バンナ公園

石垣島の中心部、標高230mのバンナ岳を中心に広がる日本最南端の森林公園。約279haの園内には亜熱帯の森林や湿地、水辺など多様な自然環境が広がり、600種以上の植物、1,500種以上の昆虫類、100種以上の鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類が生息すると考えられている。八重山地域の豊かな生物多様性を身近に感じられる、自然観察や環境学習の拠点となっている。

【お問い合わせ】

バンナ公園　広報PR 坂島（さかしま）
TEL：080-1760-8832　Email：j8@eccom.jp
HP　：https://banna.jp/　公式Instagram / X：@banna_park

別紙

アリ探求家・島田 拓氏
理事就任にあたってのコメント全文

　このたび、NPO法人ECCOM八重山の理事に就任いたしました島田拓と申します。このような大役をご縁によりお引き受けすることとなり、理事会の皆さまをはじめ、関係各位のご推薦をありがとうございます。

　私が初めて石垣島を訪れたのは、今から約30年前のことでした。人生初めての石垣島では、青い海、青々とした森、見るもの全てが新鮮で、生まれ育った東京とは、植物も鳥も虫も何もかもが違い、そして日本にこんなにも美しい自然が残っている場所があったのかと心から感動したのを覚えています。

　それから石垣島には年に何度も通うようになり、当時からバンナ公園も頻繁に訪れていました。広大な公園内には手つかずの大自然が残っていて、アリや好蟻性生物を調査したところ、数々の新発見や新種を発見することができ、改めて石垣島の自然の奥深さを知ることができた場所でもあります。

　このような場所をこの先もずっと守り残すことは、私たち人間がこれからも地球で生きていくためには欠かせない大切なことだと思っています。素晴らしい自然が残るバンナ公園を通して、多くの方々に、自然環境を守ることの重要性や、そこで暮らす多くの動植物の魅力などをお伝え出来たら嬉しく思います。

　今後とも、よろしくお願い致します。

2026年11月26日
島田 拓

別紙


AntRoom
蟻探求家 島田 拓
×
いきものクッキーアート
kurimaro collection
全23種類
卵不使用
社会性昆虫と共生する
いきものクッキーアート
in 石垣島
オオシロアリタケ
タカサゴシロアリ
兵蟻
タイワンシロアリ
女王
タイワンシロアリ
王
マメダヌキ
ノミバエ
アリヤドリコバチ
の一種（宿主謎）
ドクロノミバエ
イエシロアリ
兵蟻
イエシロアリ
女王
ヨナグニ
ヒラタハナムグリ
ヨツバアリ
女王
ヨツバアリ
アリノタカラ
（カイガラムシ）
ケブカアメイロオオアリ
ミナミフタオビ
アリスアブ
アシナガキアリ
シロオビ
アリヅカコオロギ
ヒメオオズアリ
タカサゴ
アシナガアリ
ミナミフトハリアリ
オオエリ
ゴミムシ
クビナガ
アシナガアリ
アリスアブ
の一種